

第170号

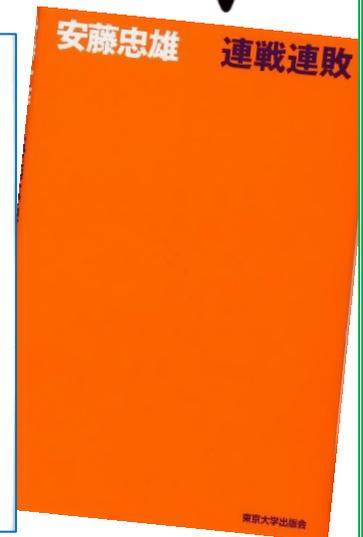
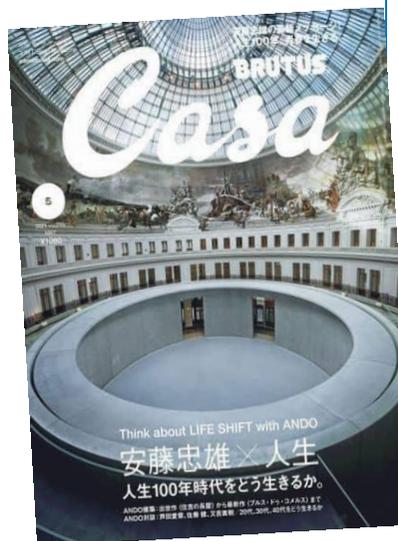
図書室だより

2022年9月21日発行



わが城工のレジェンド:安藤忠雄さん

城工生のみなさん、第167号・第169号図書室だよりで安藤さんの新聞記事を紹介したので、安藤忠雄さんはもうご存じですよ!本校の機械科を卒業された我が国を代表する世界的な建築家です。紙面の都合上、安藤さんの全てをお伝えすることができていません。ウィキペディアによると1941年大阪市港区生まれ、今年81歳。私たちの祖父母の世代の方です。経済上の理由で大学には通えなかったため建築の専門教育は受けておらず、毎日15時間以上独学し、建築科の学生が通常4年かけて学ぶ内容を1年で習得して建築士試験に1発で合格したと記載がありました。あまりにも凄い方なので、全ての経歴を紹介することが無理ですので、詳しいことはQRコードを載せておきますので、ググってみてください。



この4冊は図書室にあります



2012年に発行された安藤さんの半生記の本です。城工卒業後、独学で、教科書を買って勉強し、全く仕事がない中で空き地を見つけては建築物を想像し、その土地所有者にこんなもの建てませんかと打診する。頼んでもないことを、と拒否される。そんなことを繰り返し、コンペへ諦めず挑戦しながら日本を代表する建築家になったことが書いてあります。安藤さんが建築した代表作、有名な建物の写真も沢山掲載されています。安藤さんの幼いころからの足跡をたどるのにピッタリの本です。

☆挑戦しつづけることの大切さ☆

安藤さんのことを調べていくうちに、めちゃくちゃスゴイ方で、はるか雲の上の方で、私とは、別世界の人……。こんなにBIGな方が城工の先輩にいたのだと。気力・集中力・目的意識、強い思いが、自分を高め、困難な壁を乗り越えてこられたのだらうなって。こんなにも素晴らしい方が私たちの先輩って、ちょっと自慢です。

また、安藤さんは、何事もできないと簡単にあきらめずに、まずやってみること、挑戦し続ければ、道が開けることもあるとおっしゃっています。

来春には、新しい世界に飛び立ちます。なんだか背中を押してもらって、ちょっと勇気をもらえた感じがしました。

文責 E3-2 K.R